

保育士の確保

Q 待機児童の状況と解消するために加配する保育士の確保はできたのか。

A 加配保育士を確保できなかったことが原因で10月1日時点で6人発生する見込みである。

Q 保育士確保の方策は考えているのか。

A 短時間勤務などの弾力的な雇用に取り組む。

人口減少が財政に及ぼす影響について

Q 総務省国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所によると、三条市の人口は今後10年間で1万人減少し、2040年では7万6413人という数字が出ている。この予想通りになったときの財政状態はどのようなになっているのか。また、この状態をどのように受けとめているのか。

A これまで国も人口減少社会の進行を踏まえ、社会保障の見直しをはじめ、税制改正などの改革に取り組んでいる。毎年度のように財政運営に影響を

及ぼす制度改正が行われていることを捉えても、30年先の想定はあまりにも不確実なので、この場で不確実性の高いものに言及することは適切ではないと捉えている。

三条市としては、総合計画の策定に合わせて、ある程度の期間の財政見通しを立てた中で、毎年度の予算編成時には新たに組み込む事業や国の制度改正などを織り込んだ財政シミュレーションを作成している。

見込み可能な10年程度の予測を行い、財政負担や財政状況を把握し財政運営を行うとともに、決算時点において決算を踏まえた財政シミュレーションを作成し、財政をコントロールできているかどうか改めて検証している。

東京オリンピックホストタウン推進事業について

Q 三条市はホストタウンとしてコソボ共和国を応援しており、柔道チームの世界選手権事前合宿のサポートを通じ、市民の応援する気運を醸成するためにどのような事業展開を考えているのか。

A これから約1年コソボ共和国を知っていただくため、大使館職員の講演やコソボ料理の紹介などの交流

栄の工業流通団地の造成事業に合わせた国道8号線の単線区間の解消の見通しについて

Q 平成15年に土場地内から須頃石上大橋交差点間4.5キロメートル4車線化が完了し、渋滞は劇的に改善された。栄地域の単線区間5.1キロメートルの複線化の計画と見通しはどうか。団地の分譲開始に合わせた早期の4車線化に向けた具体的な取り組みはどうか。

A 猪子場新田地内、一ツ屋敷新田地内で4車線化工事が行われているが、国の予算の関係から完成年度を示すのは難しい。工業流通団地の分譲開始までの完成と残る区間の事業着手を、関係機関と連携して要望して行きたい。

高齢者福祉の在り方と在宅介護の行方について

Q 当市の高齢化の動向についてどう認識しているか。

A 高齢者人口、要介護認定者の増加が見込まれる中、平成29年度に実施した高齢者実態調査でも6割を超える方が住み慣れた地域で暮らした



三条市地域包括ケア総合推進センター

いと回答していることから、必要な介護施設の整備に合わせ、在宅で療養されている方への医療、介護、生活支援サービスを安定的に提供する体制が急務と捉えている。

Q 地域包括ケアシステムの推進に係る具体の取り組みはどうか。

A 地域包括ケア総合推進センターを中心に一層の取り組みを推進している。医師会職員と市職員が一体となって業務を進めることや、歯科医師会、薬剤師会などによる総合窓口を設置し、在宅医療、介護の連携を推進するための多職種連携体制の推進、認知症の方への支援体制の整備、介護を補完する新たな生活支援の仕組みづくりに取り組んでいる。

事業をホストタウン実行委員会と検討する。



コソボ共和国柔道選手

さんじょう一星育成事業について

Q さんじょう学びのマルシェ、スポーツの一番星育成事業および文化・芸術の一番星育成事業について、今年度の状況と今後の展開はどうか。

A 日曜マルシェは定員100人に106人、土曜マルシェは定員300人に172人の応募があり、今後土曜マルシェを中心にPRを行う。スポーツは、個人と団体を合わせて29件の申請があり、補助要件に該当する26件に交付する。文化・芸術の補助事業は、応募20人に対して14人、ピアノ教室は応募6人に対し

自転車保険加入の推進について

Q 自転車保険加入の義務化や努力義務の促進を求める条例を策定した自治体の広がりがあるが、どう認識しているか。

A 保険への加入は大切と考える。交通安全教室を引き続き行い、通勤・通学の時間帯に街頭指導などで交通安全意識の啓発に努めていきたい。

大型公共工事めじろ押しのめどが立ったと判断するのかについて

Q 三条技能創造大学、三条看護・医療・歯科衛生専門学校、帯織住宅団地「帯織街苑」、栄の工業流通団地、三条市体育文化会館および旧三条小学校跡地の図書館等複合施設はいずれもめどが立っており、市長の新たな政策的決断を必要とする事業は見当らないと思うがどうか。

A 一定のめどについては総合的、総体的に判断する。

て4人、デッサン教室は応募13人に対し13人、ソルフェージュ教室は応募9人に対し9人を決定した。

消防ポンプ車等の中古車両購入について

Q 車両の入れ替えの際、中古車両での対応を考えているのか。

A 完全な機能を有した新規車両でお願いしたい。

県央基幹病院設置に係る道路等環境整備の要望と今後の方針について

Q 県央5市町村長とともに国道403号三条北バイパスの促進や石上大橋下流橋の建設など、病院開設に合わせたアクセス道路等の整備促進を県に要望したということだが、今後の方針と三条市独自の取り組みはあるのか。

A 国道403号三条北バイパスや石上大橋下流橋の事業促進などの要望は、期成同盟会の他さまざまな機会を通じて国や県に要望を行っている。また、市単独で行うより関係市町村との連携による活動がより高い効果が期待できると考えている。

前市長から國定市長への自宅贈与の疑惑について

Q 一般市民から1000万円もの価値がある土地、建物を市長がただでもらうということは通常考えられない。何があったのか。

A 地方自治法で議員は他人の私生活に触れる言論をしてはならないと規定されている。私自身、不正不法はしていない。

市長の辞任時期について

Q 市長をいつ辞められるのか。

A 国政に関しては正式に決まったものではなく三条市長として申し上げることはない。市長でいる限り全力で市政の運営に当たっていく。

